



平成 22 年 11 月 11 日

各 位

社 名： 株 式 会 社 ア ー ク
代 表 者 名： 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 荒 木 壽 一
(コード番号： 7873 東証第一部・JASDAQ)
問 い 合 せ 先： 常 務 取 締 役 土 生 田 充 功
TEL： 06 (6260) 1801

第 2 四半期業績予想との差異及び為替差損の計上に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 20 日に公表した平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の第 2 四半期業績予想における予想値と比較して、本日公表の決算において下記のとおり差異が生じたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期 業績予想との差異（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

（1）平成 23 年 3 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想数値との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	45,000	400	200	50	0.73
実績値 (B)	45,983	813	230	△509	△7.48
増減高 (B-A)	983	413	30	△559	△8.21
増減率 (%)	2.2	103.3	15.0	-	-
(ご参考) 前年同四半期実績 (平成 22 年 3 月期)	64,217	△4,245	△4,937	△13,735	△201.78

（2）平成 23 年 3 月期 第 2 四半期（累計）個別業績予想数値との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	4,500	150	50	10	0.15
実績値 (B)	4,496	200	△141	△515	△7.58
増減高 (B-A)	△3	50	△191	△525	△7.73
増減率 (%)	△0.1	33.7	-	-	-
(ご参考) 前年同四半期実績 (平成 22 年 3 月期)	3,933	△400	△673	△9,117	△133.89

2. 差異の理由

(1) 連結業績について

売上高は予想通りに推移し、営業利益については当初予想を大幅に上回りました。これは、国内の金型支援事業において営業赤字が継続したものの、海外の金型支援事業及び国内外の開発支援事業においては堅調に推移したこと、並びに子会社業績管理を徹底し、グループ一丸となって徹底した経営合理化策を実施したことによるものであります。また、経常利益においても、円高の影響を受け為替差損を計上したものの、営業利益増加の影響が大きく、当初予想を上回りました。なお、一部の資産人員整理に係る費用を事業構造改善費用として計上する必要が生じたこと等により、四半期純利益につきましては、当初予想を下回りました。

(2) 個別業績について

売上高は概ね予想通りに推移し、営業利益については、費用合理化策が奏功し当初予想を上回りました。一方、経常利益及び四半期純利益においては、当初予想を下回る結果となりました。これは、営業外損失において為替差損を計上したこと、及び特別損失において事業構造改善費用を計上したことによるものであります。

なお、通期業績予想（連結業績及び個別業績）につきましては、従来予想から変更しておりません。

3. 為替差損の計上

昨今の為替相場の変動により、平成23年3月期第2四半期（累計）において、連結及び個別ベースで為替差損としてそれぞれ583百万円及び230百万円の営業外費用を計上致します。

なお、これは主に平成23年3月期末時点での為替相場により算出したものであり、今後の為替相場によりこの額は変動致します。

以 上